

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 非結核性抗酸菌症とPPFE like lesionとの関わり

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 横村 光司（呼吸器内科部長）

[研究の概要]

- 目的・方法：非結核性抗酸菌症 (NTM症) は、慢性の呼吸器感染症の一つで、一部の症例では薬剤治療にも関わらず病変が進行し致死的となりえます。一方で、Pleuroparenchymal fibroelastosis (PPFE、胸膜肺実質線維弾性症) は上葉優位に線維化が認められ、進行性に肺機能が低下しますが、特異的治療法のない難治性の疾患です。PPFEを生じる原因の一つとしてNTM症が挙げられています。しかし、NTM症の患者さんでPPFE like lesion (PPFEに類似した病変) について調査・検討した報告はほとんどありません。今回、診療録から情報を収集し、両者の関連を調べることを目的としています。

研究期間は当院の病院長実施承認日から2025年12月までを予定しています。

- 対象となる患者さん

2006年1月～2020年8月までにNTM症のため胸部CTを施行された方

- 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、治療歴、CT画像、副作用等

- 共同研究機関の名称及び研究責任者

浜松医科大学 内科学第二講座 教授 須田隆文

磐田市立総合病院 呼吸器内科部長 妹川史朗

国立病院機構天竜病院 院長 早川啓史

聖隷浜松病院 副院長 中村秀範

聖隷三方原病院 呼吸器内科部長 横村光司

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

横村光司 (呼吸器内科部長)

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971